

新型コロナウイルス感染拡大に伴う 第75回国民体育大会（鹿児島県）に係る 伊藤 JSP0 会長と三反園鹿児島県知事との ウェブ会談について

スポーツを「する」「ささえる」「みる・表現する」ための環境づくりを行う JSP0（正式名称：公益財団法人日本スポーツ協会 東京都新宿区／会長 伊藤雅俊）は、本日、標題の件について、三反園訓鹿児島県知事とウェブ会談を行いました。

会談での伊藤会長の主な発言骨子は次のとおりです。

【伊藤会長発言骨子】

- 昨日、39県の緊急事態宣言が解除されましたが、特定警戒都道府県の8県は依然として宣言下にあり、今後の推移の見極めが困難な状況にあります。
- 当協会の4月調査では、都道府県予選会の約6割以上が延期や中止の検討をしており、今後、ブロック大会においても、延期や中止を検討しているところもあります。
- 当協会には、早期に大会開催可否の判断を求める声や、公平・公正な選手選考ができないとの意見も多数寄せられています。
- 新型コロナウイルスの感染拡大により、全国から集まる選手の安全を確保した上で、大会を開催できる状況かどうかを見ながら判断していくこととなります。
- 全国各地からのお客様をお迎えすることができるのかも重要です。
- このような中、これまで鹿児島県が長年にわたり準備されてきたことを重く受け止めており、今後の対応は4者（当協会、スポーツ庁、日本障がい者スポーツ協会、鹿児島県）で協議していきたいと考えています。
- 鹿児島国体の開催可否については、6月中に判断することで4者において合意しており、互いに協力して、可能な限り早期に判断できるよう、検討してまいります。

◆JSP0（公益財団法人日本スポーツ協会）について

JSP0 は、1911年7月に「国民スポーツの振興」と「国際競技力の向上」を目的に、大日本体育協会として創立。日本体育協会を経て、2018年4月1日、現在の名称となりました。

JSP0 では、国民体育大会や日本スポーツマスターズなど各世代を網羅したスポーツ大会の開催、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどスポーツをする場の創出、スポーツの楽しみをサポートするスポーツ指導者の育成、最新の医・科学に根差したスポーツの推進など、誰もが自発的にスポーツを「する」「ささえる」「みる・表現する」ための幅広い事業を展開しています。また、わが国スポーツの統一組織として、国や60を超える競技団体、47都道府県スポーツ・体育協会など、様々なスポーツ関連団体・組織や個人と連携しています。

2019年の大河ドラマ「いだてん」で、主人公を導く重要な役回りとして登場した嘉納治五郎は JSP0 の初代会長であり、JSP0 は「いだてん」の舞台でもありました。

WE SUPPORT JAPAN SPORT.

JSP0 OFFICIAL PARTNER



大塚製薬



三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

LOTTE

セレスポ



日本文化出版



フェアプレイで日本を元気に ~あくしゅ、あいさつ、ありがとう~
目指せ100万人のフェアプレイ宣言！WEBで好評受付中！
<http://www.japan-sports.or.jp/fair/>

